窒素ガス消火設備

NN100 消火システム

PACKAGE TYPE

オゾン層破壊係数ゼロ、地球温暖化係数ゼロ
人と地球にやさしい新時代の消火システムです。

koatsu

Green Power

当社は、2009年7月以降、会社全体で1年間に使用する電力100万kWh全てをグリーン電力でまかなっています

消火システムNN100の機能をコンパクトにまとめ、省スペース・低コストで大切な財産を守ります。

■特 長

● **オゾン層破壊係数ゼロ、地球温暖化係数ゼロの窒素ガスを消火剤に使用しています。**
- ▶ 消火剤による熱分解生成物がなく、汚損がありません。
- ▶ 比重が空気に近く、消火効果が持続します。

● **AND 回路による自動放出**

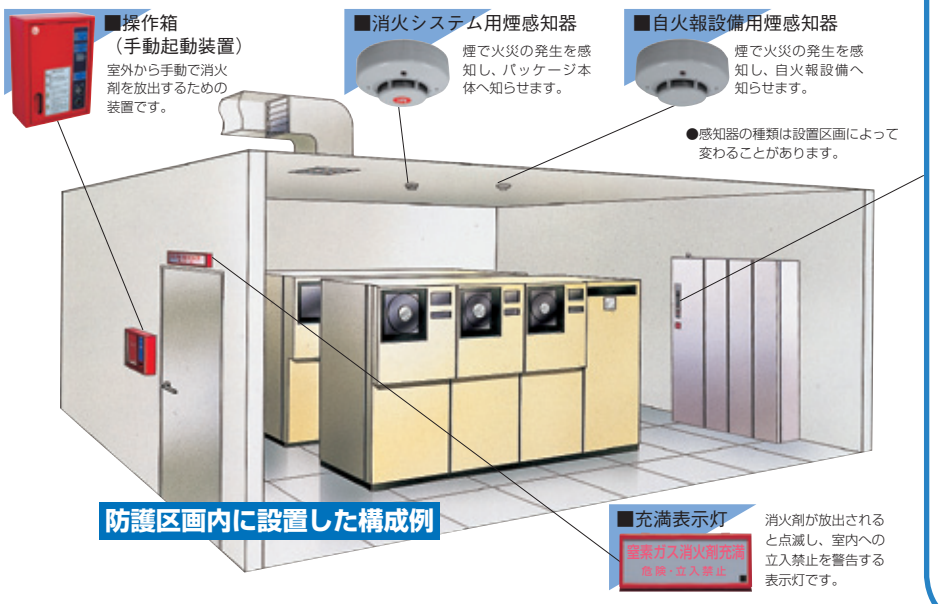
消火システム NN100 は自動火災報知設備用感知器と本消火システム用感知器の 2 信号の AND 回路で連動させることにより、無人の場合でも早期起動できる自動消火システムです。
（本消火システム用感知器のみの 2 信号による AND 回路も可能です。）
なお、コンピュータ室などの火災をより早期に予兆の段階で発見するには、火災予兆検知システム（PROTECVIEW）との併用が効果的です。

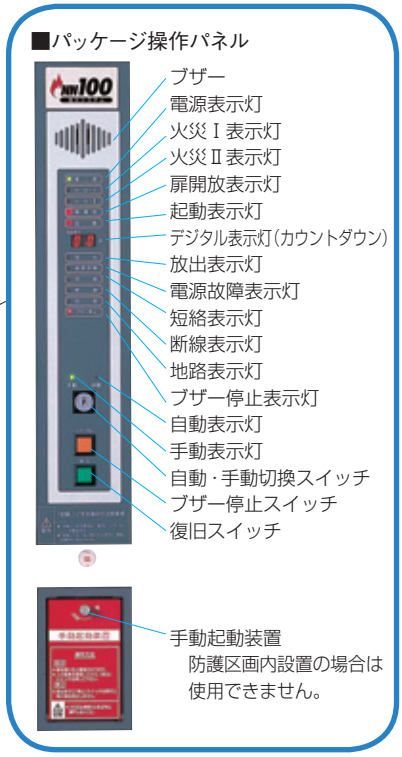
■用 途

比較的小規模な通信機室（通信機械室、コンピュータ室）、発電機室、ケーブル室、機械室、電気室、美術品展示室（収蔵庫）などに適しています。

■システム構成

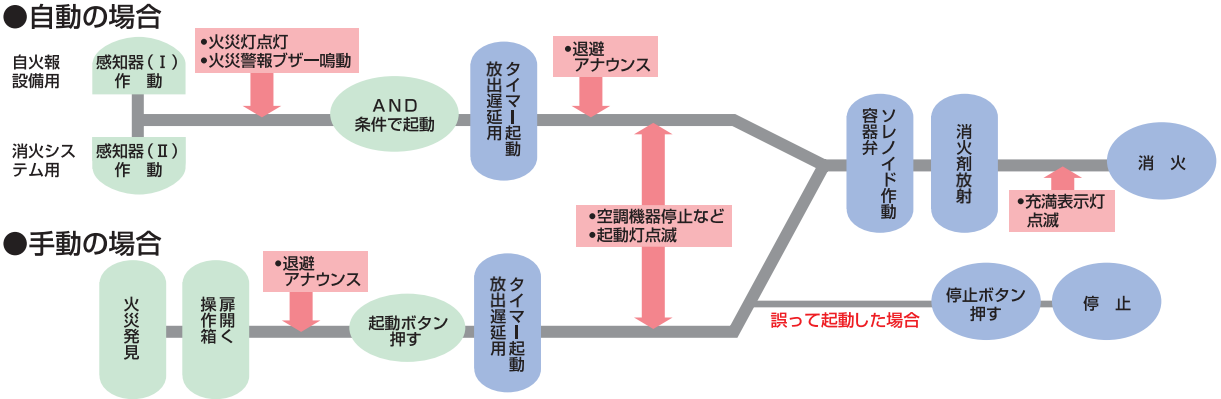
● パッケージは防護区画内・外に設置することができます。





■システム作動フロー

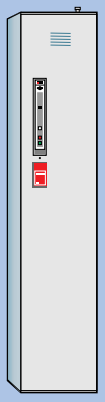
●自動の場合



●手動の場合

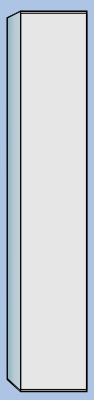
大がかりな配管工事がいらず低コストで設置可能。
シンプルでスマートだからいろんな場所にマッチします。

■パッケージの種類



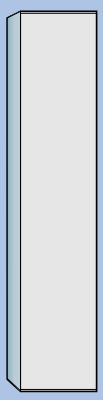
Aタイプ

貯蔵容器、加圧容器、噴射ヘッドおよび制御装置（制御盤、音声装置、蓄電池設備、手動起動装置）を内蔵する基本となるパッケージです。



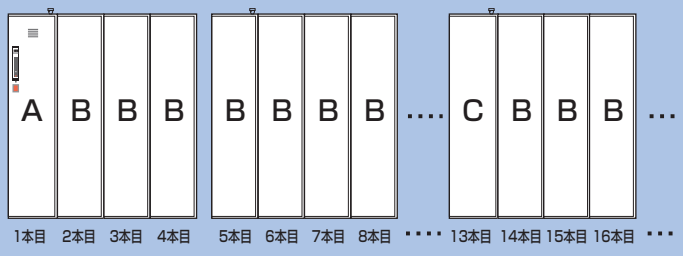
Bタイプ

貯蔵容器のみを内蔵し、防護区画の体積に応じて拡張するためのパッケージです。



Cタイプ

貯蔵容器と加圧容器を内蔵し、防護区画の体積に応じて拡張するためのパッケージです。



Aタイプ１本でBタイプ 11 本まで増設できます。防護区画の体積により、容器本数が 13 本以上必要な場合はCタイプが必要です。
C タイプ１本で B タイプ 11 本まで増設できます。

■パッケージ１台でカバーできる防護区画の体積

容器の容積(L)	充てん量（m³/本）	防護区画の体積（m³）
83	20.3	39

注意事項

1. **避圧装置**
   消火剤放射の際、防護区画の圧力が上昇するため、密閉度の高い区画においては避圧装置が必要となります。
2. **排出装置**
   燃焼物質から発生する分解生成ガスおよび消火後の消火剤を排出するために、排出装置が必要となります。

NN100 消火システム

PACKAGE TYPE

製品仕様

	Aタイプ（制御装置あり）	Bタイプ（制御装置なし）	Cタイプ（制御装置なし）
	NPA11	NPB11	NPC11
容器内容積(L)	83		
消火剤量(㎥)　注①	20.3		
質量(kg)　注②	約200	約180	約190
外形寸法(mm)	450(W)×370(D)×2150(H)	350(W)×370(D)×2150(H)	450(W)×370(D)×2150(H)
使用温度範囲	0℃～40℃		
入力電圧	AC100V	—	—
消費電力	最大250VA	—	—
操作回路電圧	DC24V	—	—
タイマー	0～99SEC. 可変	—	—
火災表示接点	DC30V,0.5A,DC60V,0.3A	—	—
機器停止接点	無電圧2a,2b接点,AC250V,3.5A,DC30V,3.5A,DC60V,0.6A	—	—
音声警報装置	6W	—	—
蓄電池設備	ニカド4.0AH/5HR,DC24V	—	—
開放装置	R65M10-N型容器弁ソレノイド(DC24V)	—	—
噴射ヘッド	PNV型	—	—
格納箱の材質	SPCC		
格納箱の塗装色	マンセル(参考値) 5Y7/1		

注①　消火剤量は標準充てん量を記載しています。
注②　質量は標準充てん量による質量を表わしています。

用途と制限

用途	床面積(㎡)	最大容積(㎥)
通信機室等、美術品展示室等	500未満	1500
発電機室等、ケーブル室等、機械室等 電気室等、フィルム等保管庫（注1）	200未満	1200
制御室等　（注2）	200未満	600

（注1）用途の例：MT保管庫、テープ保管庫、VTR保管庫等　（注2）防災センター及び中央管理室を除く

設置に当たって
本システムは、自主設置を対象としています。
消防法に基づき設置が必要な場合は、所轄消防の了解が必要となります。

(一財)日本消防設備安全センターの「個別評価(評ガ-182号)」を取得しているため、自主設置※の場合物件ごとの評価申請は不要です。

※自主設置とは、消防法による設置義務がある消火設備ではなく、自主的に消火設備を設置することです。

⚠安全に関するご注意

●安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご使用および維持管理してください。
●本システムは、初期消火を目的とした設備ですが、設置後に可燃物の種類や規模、形態などが変更された場合には、消火できないことがあります。
●本システムは高圧ガス保安法にもとづく高圧ガス充てん容器を内蔵しています。容器に表示された「取扱上の注意」にしたがい、正しくお取扱いください。
●このカタログに掲載された製品は「消火設備」の構成機器です。他の用途には使用しないでください。
●このカタログに掲載された製品の取付け・調整・メンテナンスは、法によって定められた有資格者が必ず行ってください。

⚠設置に関するご注意

消火剤放射時は大きな放射音がします。近年のハードディスクドライブ（HDD）などの精密機器は音の影響を受けるおそれがあります。
ハードディスクドライブが設置される通信機室、電算機室、サーバー室などには、放射音を小さくした静音形噴射ヘッドの採用を推奨します。なお、静音形噴射ヘッドはオプションです。別途、ご用命ください。ただし、静音形噴射ヘッドは、放射音を抑制することでHDDのガス放射音による影響の低減を図るもので、HDDの作動性能を保証するものではありません。また、HDD保護のために、HDDの格納ラックなどの防音や防振化対策（吸音材、防振材の採用など）、消火剤放射開始前のHDD保護措置（HDD停止、磁気ヘッド退避など）、HDDの耐音性向上やデータ保護対策（データバックアップなど）、その他の措置も考えられますが、お客様において、静音形噴射ヘッドを使用され、上記措置の全部または一部を併用された場合にも、HDDの作動性能を保証するものではありません。

●大切な防災システムのメンテナンスは多数の有資格者を有する当社保守部門または当社代理店・特約店にご用命ください。
●この製品の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
●このカタログと実際の製品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。
●このカタログの記載内容は 2014 年 5 月現在のものです。

koatsu 株式会社コーアツ

本　　社 〒664-0836 兵庫県伊丹市北本町1-310
TEL.(072)782-8561　FAX.(072)782-8511
大阪支社 〒664-0836 兵庫県伊丹市北本町1-310
TEL.(072)782-8562　FAX.(072)782-8211
東京支社 〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-21(山脇ビル4階)
TEL.(03)3265-7651　FAX.(03)3265-7659
名古屋支社 〒468-0066 愛知県名古屋市天白区元八事5-1
TEL.(052)861-2711　FAX.(052)861-2880
URL: http://www.koatsu.co.jp/

12.6.2000.Y